

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	空家等対策推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	5,140,489	非常勤職員報酬	83,500
	国補助	1,404,000	報償金	30,000
	府補助		印刷製本費	91,500
	市債		事務業務委託料	2,808,000
	その他		使用料及び賃借料	32,489
	合計	6,544,489	その他団体補助金	1,194,000
		個人補助金	2,305,000	

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	市内空家等の流通・利活用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接地等取得費補助事業</li> <li>・空家等改修費補助事業</li> <li>・空家等所有者の特定及び意向確認調査</li> <li>・専門家チームによる相談会 など</li> </ul>
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	令和2年度まで大東市空家等対策計画に位置付けている施策を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修費補助を開始(10月～)</li> <li>・専門家チームによる相談会を開催</li> <li>・空家等の所有者特定及び意向調査を実施</li> <li>・大東市空家等対策協議会の開催</li> </ul>

指標	内容			目標	H30実績
	大東市人口	総計	R2	130,000人	120,537人
		KPI	R2		
	補助金の申込件数(年間)	独自	R2	改修補助 10件/隣接地等取得費補助 10件	改修補助 0件/隣接地取得費補助 5件
	人権行政の視点	市民の生存権及び財産権を確保することに寄与			財産の取得を後押しすることができた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	多様な暮らし方を支援する住まい・まちづくりを推進する(住マス基本方針5)	利活用等を促進することにより空家等の数を減らす	
結果	狭小な住宅地を解消し、良好な住環境の形成に寄与することができた	隣接地取得費補助は件数が増加しているが、改修費補助制度と合わせて引き続き制度利用を促す		

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	景観形成推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	2,769,060	非常勤職員報酬	190,500
	国補助		費用弁償	3,000
	府補助		事務業務委託料	2,570,400
	市債		使用料及び賃借料	5,160
	その他			
合計	2,769,060			

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	本市が有する特性を活かし、良好な景観形成を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観行政団体移行に向けた府との協議</li> <li>・景観計画及び景観条例の検討</li> </ul>
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
令和元年度に、景観行政団体として景観計画及び景観条例の運用を開始する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観審議会を設置。審議会開催(3回)</li> <li>・景観行政団体移行の府協議</li> <li>・景観づくりの基本方針策定</li> <li>・景観計画案、景観条例案の検討</li> <li>・重点地区の検討</li> </ul>	

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
		KPI	R2		
	景観条例制定・景観計画策定	独自	R1	100%	50%
	人権行政の視点			健康で文化的な生活権の保障と、より快適で豊かな生活の保障に寄与	良好な景観の形成により、快適で豊かな生活に寄与

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	<p>目的</p> <p>自然景観の保全に努めるとともに、調和のとれた魅力とうるおいのある都市景観を形成する(都市マス 4-5)</p> <p>結果</p> <p>本市の景観形成の方向性を定めた</p>	<p>景観形成基準を定め、良好な景観形成を誘導する</p> <p>平成31年4月1日に、本市独自の景観形成を進めることができる「景観行政団体」に移行した</p>

平成30年度【街づくり委員会 B】

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-5-3

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	6,739,000		印刷製本費	61,000
	国補助	7,913,000		その他団体補助金	964,000
	府補助	2,036,000		個人補助金	15,663,000
	市債				
	その他				
	合計	16,688,000			

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき住宅等の耐震化を推進し、安心・安全な生活環境を創造する	既存民間建築物を対象とした耐震診断、又木造住宅の耐震設計及び改修工事、建替え等の促進のため住宅等の除却に関して補助するもの
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	平成28年度から令和7年度の10年間	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断、耐震設計・改修補助申込受付</li> <li>大阪北部地震発生に伴うブロック塀改善補助申込受付(7/25~12/28)</li> <li>除却補助申込受付(10/1~)</li> <li>補助制度に関する広報活動(チラシの回覧、Facebook掲載など)</li> </ul>

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
		KPI	R2		
	補助金の申込件数	独自	H30	診断50戸/設計10戸 改修12戸/除却6戸	診断52戸/設計1戸 改修4戸/除却7件 ブロック塀40件
	人権行政の視点	大規模な地震による被害を最小限にとどめ、市民の生命権や財産権を守る			市民の生命を守る事業を推進できた

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	建築物の耐震化の向上	補助制度の普及啓発を促進し、申込件数の増加を図る
	結果	危険箇所の除却を図ることができた	耐震化、老朽建築物の除却を考える所有者に対して補助を実施することができた

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	三世代家族推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 住宅都市政策課	目	都市計画総務費
		総計	3-1-2

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	11,548,000		印刷製本費	60,000
	国補助			個人補助金	11,488,000
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	11,548,000			

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居を促進するため、同居・近居するための住宅の新築、購入、リフォームに要する費用等を補助する	市内における三世代同居等を目的とした、転入、転居に要する費用及び、住宅の新築、購入、リフォームに要する費用等を補助する
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	平成27年度から令和元年度の5カ年で実施	・転入給付金、住宅取得等補助金の申込受付 ・補助制度に関する広報活動(チラシの回覧、Facebook掲載など)

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
	助成金利用件数	KPI	R2	50件	70件
		独自			
	人権行政の視点	三世代同居を推進することで、家族の絆を深め、思いやりの心、人を大切にすることを育む		三世代同居等を通して人を大切にする心を育むことができた	

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	人口流入・定住促進	補助制度の普及啓発を促進し、利用者数の増加を図る
	結果	人口流入・定住促進を図ることができた	市外から転入する世帯、市内で住宅を取得した世帯があった

平成30年度【街づくり委員会 B】

事業名	地域公共交通事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通政策課	目	交通安全対策費
		総計	3-3-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	56,507,491	非常勤職員報酬	235,500
	国補助	4,320,000	消耗品費	174,528
	府補助		事務業務委託料	8,672,400
	市債		使用料及び賃借料	24,150
	その他		庁用器具購入費	644,000
	合計	60,827,491	その他負担金	37,076,913
		その他団体補助金	14,000,000	

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	公共交通運行事業 公共交通体系の調査検討	公共交通体系の調査検討(コミュニティバスのルート再編・隣接他市との連携等)
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	各公共交通事業の運行継続及び見直し (コミュニティバス・東部地域乗合タクシー・ 阪奈生駒線)	龍間地区への公共交通に関するアンケート調査(8月) 阪奈生駒線の運行継続に関する説明会の実施(12月、1月) コミュニティバスの他市連携についての状況確認(12月) 南部地域コミュニティバスの運行開始(3月)

指標	内容	目標			H30実績
	阪奈生駒線(生駒登山口～寺川)の運行	独自	R1	継続	R1 年度運行継続決定
	コミュニティバス利用客数	独自	R1	179,000人	173,593人
	コミュニティバス新ルートの運行実施	独自	H30	年度内運行	運行開始(3月)
	人権行政の視点	交通の利便性を向上させることは、生活をしていくうえでのあらゆる権利の実現に関連している			各種公共交通の実施により、権利の実現に寄与できた

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	市内の移動手段について、利便性を高めるため、公共交通機関との連携を図る	利用者数・利用実態等を検証し、市民が利用しやすい公共交通を運行する	
結果	南部地域の移動手段として、運行事業者と連携を図り、新たな公共交通を展開した	南部地域コミュニティバスの運行を開始することにより、市内公共交通が充実し、市民の利便性向上が図れた		

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	放置自転車対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 交通政策課	目	自転車対策費
		総計	3-3-4

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	26,616,842		事務業務委託料	30,758,114
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	4,141,272			
合計	30,758,114				

内容	全体の事業計画		H30年度の事業計画	
	JR3 駅(住道・野崎・四条畷)周辺の自転車等放置禁止区域内において、放置自転車の啓発・移送を行う		左記参照	
	全体のスケジュール		H30年度のスケジュール	
	○街頭啓発業務(平成30年度予定) JR3 駅周辺 年 290 日実施 ○移送業務(平成30年度予定) JR3 駅周辺 年 290 日実施 ○保管返還業務(平成30年度予定) 木曜日・祝日等を除く日の年 294 日実施		○街頭啓発業務(平成30年度実績) JR3 駅周辺 年 289 日実施 ○移送業務(平成30年度実績) JR3 駅周辺 年 289 日実施 ○保管返還業務(平成30年度実績) 木曜日・祝日等を除く日の年 294 日実施	

指標	内容			目標	H30実績
	放置自転車撤去台数の減少	総計	R2	2,923 台	2,179 台
	人権行政の視点	放置自転車等が引き起こす通行支障等の問題を啓発し市民の安全な通行の確保や景観の維持を図る			通行環境が改善され、安全な通行の確保等に寄与できた

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	歩行者の安全とまちの景観を守り、だれもが安心安全で暮らせるまちづくりを目指す	街頭啓発、移送業務、保管返還業務の継続
結果		放置禁止区域内における歩行者の安全とまちの景観に改善傾向が見られた	放置自転車の撤去を実施し、駅前広場等の通行環境が改善できた

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 駅周辺整備推進課	目	野崎駅・四条畷駅周辺整備費
		総計	3-1-1

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	148,645		普通旅費
国補助	149,400,000		消耗品費	127,446
府補助			施設修繕費(費用)	722,520
市債	126,500,000		手数料(費用)	1,065,086
その他	258,000,000		事務業務委託料	15,346,397
合計	534,048,645		設計委託料(資産)	9,873,360
			工事監理委託料	476,280
			鑑定委託料	5,249,880
			測量ボーリング委託料(資産)	483,840
			使用料及び賃借料	28,565
			新設改良工事請負費(単)	79,546,320
			国・土地購入費	41,800,060
			図書購入費	13,608
			庁用器具購入費	374,500
			建設負担金	181,332,283
			その他負担金	15,490
			国・建設事業補償金	197,496,670

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	市東北部の振興を図るため、JR野崎駅・JR四条畷駅の周辺整備を行い、2駅周辺で特色ある魅力的な整備を推進する	野崎駅橋上化整備工事に着手する。また、事業用地取得の推進を図るため、土地鑑定評価業務等を行い、用地購入及び物件補償を行う
全体のスケジュール	H30年度のスケジュール	
整備期間は、令和4年度までを予定 【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化整備工事 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅前東線の整備 ・駅前広場、自転車駐車場整備等	【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化整備工事着手 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅周辺事業用地取得等	

指標	内容	目標	H30実績
	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	総計 R4	100%
人権行政の視点	快適で豊かな市民生活の確保に資する	快適で豊かな市民生活の確保に資する事業等を行った	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 ・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上	野崎駅橋上化整備工事の推進 事業用地取得の推進
結果	野崎駅仮駅舎の整備及び既設駅舎撤去 事業用地の一部取得	

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路維持費
		総計	3-3-3

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	16,129,800		事務業務委託料	24,040,800
	国補助	69,498,000		設計委託料(費用)	7,560,000
	府補助			新設改良工事請負費(国)	105,327,000
	市債	51,300,000			
	その他				
	合計	136,927,800			

内容	全体の事業計画		H30年度の事業計画	
	①橋梁長寿命化②橋梁点検③住道デッキ ④道路ストック		①橋梁補修設計 3 橋、補修工事 1 橋、重要橋梁 24 橋の見直し②55 橋点検③住道駅前デッキ点検 ④舗装工事	
	全体のスケジュール		H30年度のスケジュール	
	①全 24 橋の市内の重要橋梁の維持修繕 ②5 年に 1 回、市管理橋梁 123 橋を点検 する ③住道デッキ補修 ④市内の 1、2 級路線の劣化した補修の修 繕事業		①会所橋 補修設計完了(3 月) 深北大橋 補修工事完了(3 月) 橋梁長寿命化等修繕計画の見直し完了(3 月) ②橋梁点検完了(2 月) ③住道駅前デッキ点検完了(2 月) ④市道野崎深野線 舗装補修工事完了(12 月)	

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
		KPI	R2		
	単年度達成率(事業費ベース)	独自	H30	100%	86%
	人権行政の視点	長寿命化修繕計画を進めることにより地域の安全性を確保し市民の安全で快適な生活を確保する		地域の安全性の確保及び市民の安全で快適な生活の確保に寄与できた	

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	橋梁の経済的な管理を計画的に実施するために、事後的な架け替えよりも予防的な修繕によるコスト圧縮を行う	道路網の安全と安心の確保
結果	橋梁の経済的な管理を計画的に実施し、修繕によるコスト圧縮に寄与した	道路及び橋梁の補修工事や点検を行うことにより、道路網の安全と安心の確保に寄与した	

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	道路新設改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	道路新設改良費
		総計	3-3-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	11,797,519	事務業務委託料	3,137,184
国補助	6,564,000	設計委託料(資産)	967,680	
府補助		測量ボーリング委託料(費用)	4,554,360	
市債	74,800,000	鑑定委託料	628,560	
その他	36,927,000	新設改良工事請負費(国)	56,590,564	
合計	130,088,519	新設改良工事請負費(単)	15,581,516	
		建設負担金	2,702,567	
		[線越明許]		
		単・建設事業補償金	201,488	
		[事故線越]		
		新設改良工事請負費(国)	33,369,040	
		新設改良工事請負費(単)	12,355,560	

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道の車道及び歩道の改良</li> <li>・現道の交差点の歩道段差の改良</li> <li>・人、車等の円滑な通行と安全確保のため現道を拡幅</li> <li>・道路拡幅及び交差点改良設計</li> </ul>	道路新設改良に必要となる業務委託・工事を行う
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	「大東市バリアフリー基本構想」及び「大東市地域防災計画」に基づき歩道の拡幅・段差解消等バリアフリー化の整備や狭小な道路の拡幅整備を行う	○工事完了 ・緑が丘二丁目1号線道路改良2期工事(12月) ・中垣内浜公園前線道路改良2期工事(12月) ・住道四の宮線道路改良2期工事(1月) ・庁舎前線バリアフリー化工事(9月) ・大阪府営大東北新町住宅外周線バリアフリー化工事(9月) ・片町線附属街路南側1号線歩道改良工事(1月)

指標	内容	目標	H30実績
		総計 R2	
		KPI R2	
	単年度達成率(事業費ベース)	独自 H30 100%	86%
人権行政の視点	歩道幅員の拡幅、バリアフリー化を進め、あらゆる市民の安全で快適な生活の確保、充実を図る	歩道拡幅やバリアフリー化により、市民の安全で快適な生活の確保、充実に寄与できた	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 道路環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な道路機能の向上</li> <li>・防災拠点へのアクセス向上</li> </ul>
	結果 既存道路を改修等することにより、道路環境の改善に寄与した	歩道整備やバリアフリー化を行うことにより、既存道路の安全・安心性向上及び防災拠点へのアクセス向上に寄与した

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	深野北谷川線新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 道路課	目	深野北谷川線新設費
		総計	3-3-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	16,585,948	事務業務委託料	4,977,212
	国補助	2,965,000	設計委託料(資産)	19,620,800
	府補助		鑑定委託料	1,020,600
	市債	20,900,000	新設改良工事請負費(単)	1,036,800
	その他		国・土地購入費	13,795,536
	合計	40,450,948		

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	本市の南北を貫く幹線道路として、また、広域避難地 大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路 深野北谷川線の整備を行う	①事業予定地の用地取得に係る土地境界確定・詳細設計を行う ②旧権現川接続部の用地交渉を行う
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	①橋梁設計・道路設計・境界確定(H30) 土地鑑定・補償費算定(H30~R2) 用地買収・物件補償(R1~R3) 道路工事(R4~7) ②土地鑑定・用地交渉	①橋梁設計完了(3月) 道路設計完了(3月) 用地買収(1件)完了(2月) ②土地鑑定完了(3月)

指標	内容		目標	H30実績
		総計	R2	
		KPI	R2	
	事業進捗率	独自	R7	100%
	人権行政の視点	アクセス道路の整備により、都市機能の向上と地域住民の安全確保を図る		地域住民の安全を確保できるよう、引き続き事業を推進する

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	都市の防災性向上及び道路環境の改善	安全・安心な道路機能の向上 防災拠点へのアクセス向上	
結果	都市の防災性の向上及び道路環境の改善に向け、事業実施中	安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業実施中		

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	花と緑のまつり事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	930,000		その他負担金	930,000
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
合計	930,000				

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	「花と緑のまつり」により都市緑化に関する市民の意識高揚を図る	第33回大東市花と緑のまつりを開催する
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	・第33回大東市花と緑のまつりの開催(H30)	・まつりの開催(6月3日)

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
		KPI	R2		
	参加者数(延べ)	独自	H30	6,000人	4,000人
	人権行政の視点	市民参加を促進することにより、地域コミュニティの醸成に貢献する			老若男女を問わず心の豊かさを培うことに貢献した

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	都市緑化の推進	市民の緑化意識の向上を図ります
	結果	緑化推進に関する市民の意識向上	「だいとうクリーンウォーク&環境フェア」との共同開催により、相乗効果による市民の緑化・美化意識を向上することができた

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	都市公園再整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	緑化推進費
		総計	3-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	17,518,156	手数料(資産)	539,796
	国補助	176,200,000	事務業務委託料	2,160,000
	府補助		新設改良工事請負費(国)	411,648,480
	市債	200,400,000	新設改良工事請負費(単 [繰越明許])	21,769,560
	その他	45,406,000	事務業務委託料	3,406,320
	合計	439,524,156		

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	供用開始後 20 年を経過した都市公園についてリニューアルを図り、地域特性に応じた特色ある公園整備をめざす	新田中央公園及び野崎中公園再整備
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	新田中央公園再整備工事(H29・H30) 野崎中公園再整備工事(H30)	【新田中央公園再整備工事(第2期)】 7月 工事着工 3月 整備完了 【野崎中公園再整備工事】 7月 工事着工 3月 整備完了

指標	内容	目標	H30実績
	市民1人あたり公園面積	総計 R2 4.06 m <sup>2</sup> /人	4.09 m <sup>2</sup> /人
		KPI R2	
	市内の都市公園の再整備率	独自 R12 100%	46.2%
	人権行政の視点	子供から老人まで、幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供する	幅広い年齢層の市民に憩いの場を提供できるよう工事を行った

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 魅力ある公園づくり	地域特性に応じた施設整備を図る
結果 老朽化した公園の再整備を進める	地域住民の要望を聞き、魅力ある公園・施設整備を実施するため工事を行った	

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	中垣内浜公園新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
所属(部) (課)	街づくり部 みどり課	目	中垣内浜公園新設費
		総計	3-2-3

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	9,961,710	手数料(資産)	218,600
	国補助	20,645,000	設計委託料(資産)	411,480
	府補助		鑑定委託料	494,640
	市債	39,300,000	新設改良工事請負費(国)	31,748,760
	その他		新設改良工事請負費(単)	1,951,240
	合計	69,906,710	国・土地購入費	35,081,990

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	計画面積 約 1.5ha の施設整備	第 3 期 施設整備
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	第 1 期施設整備(H28) 第 2 期施設整備(H29) 第 3 期施設整備(H30) 事業用地買収 第 4 期施設整備(R1)	10 月 工事着工 5 月 整備完了予定

指標	内容	目標	H30実績
	市民1人あたり公園面積	総計 R2 4.06 m <sup>2</sup> /人	4.09 m <sup>2</sup> /人
		KPI R2	
	全面供用開始	独自 R1 1.5 ha	0.62ha
	人権行政の視点	災害発生時の防災拠点を整備し、市民の生命・財産を守るとともに、平常時には憩いの場を提供する	市民の生命・財産を守り、平常時には憩いの場を提供した

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 生活環境の向上	地域の防災拠点の形成を図る 地域のコミュニティの形成を図る
結果	生活環境向上のための整備工事を行った	

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	都市浸水対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	都市浸水対策費
		総計	3-5-3

事業費		決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	25,533,360		調査研究委託料	77,760
	国補助	18,000,000		設計委託料(資産)	5,378,400
	府補助			新設改良工事請負費(国)	61,707,598
	市債	27,900,000		新設改良工事請負費(単)	4,269,602
	その他				
	合計	71,433,360			

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために効果的な雨水貯留施設等の整備を進める	諸福中学校校庭貯留浸透施設実施設計業務委託 谷川中学校校庭貯留浸透施設整備工事
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	R1～R10 貯留施設整備実施設計及び整備工事を順次実施	4月 業務委託費・整備工事費 積算 5月 交付申請 6月 設計業務、工事発注 9月 整備工事 完了 3月 業務委託 完了

指標	内容			目標	H30実績
		総計	R2		
		KPI	R2		
	小中学校の貯留施設整備率(箇所数)	独自	R10	100%	50%
	人権行政の視点			内水排除等の施設を整備し、減災・防災の観点から市民の生命と財産を守る	整備により浸水被害のリスクが軽減した

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	安心して暮らせるまちづくり	雨水貯留施設整備等のハード面の対策を進める
	結果	浸水対策のための設計業務と整備工事	校庭貯留施設を整備することにより、大雨時の浸水被害が軽減された

平成30年度 【街づくり委員会 B】

事業名	水路整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
所属(部) (課)	街づくり部 水政課	目	河川改修費
		総計	3-2-2

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)	
	一般財源	10,892,299	設計委託料(資産)	6,254,280
	国補助	74,052,000	新設改良工事請負費(国)	80,700,000
	府補助		単・建設事業補償金	850,539
	市債	73,800,000	[繰越明許]	
	その他	9,507,000	新設改良工事請負費(国)	80,446,480
	合計	168,251,299		

内容	全体の事業計画	H30年度の事業計画
	水路の修景整備などを実施することで、水路の環境改善を図り、市民に親しまれる水辺環境を創出する	灰塚水路詳細設計及び土質調査業務委託 新田地内水路整備工事 他1件
	全体のスケジュール	H30年度のスケジュール
	灰塚水路整備工事(R1~R3) 新田地内水路整備工事(H29~R2)	4月 交付申請、業務委託費 積算 6月 灰塚水路設計業務委託発注及び 新田地内水路整備(債務負担)工事発注 3月 灰塚水路設計業務委託 完了 9月 新田地内水路整備(債務負担)工事完了

指標	内容	目標	H30実績
		総計 R2	
		KPI R2	
	整備工事進捗率(延長)	独自 R3 100%	0%
	人権行政の視点	地域の実情を十分に把握し、地域住民の快適な生活を実現するための整備を実施する	地域と調整を行い、事業に着手した

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的 水辺の保全と活用	都市にうるおいを与え親しまれる水辺環境を創出する水路整備を進める
結果	現況水路の環境改善に向けた設計業務と整備工事	地元の意思を取り入れた設計業務と整備工事を行った